

【実施年月日】

令和5年11月21日（火）9：35～10：20

【実施場所】

有田市立港小学校（有田市港町261）



児童にみかんを贈呈

【事業の目的】

県では、食育・地産地消の取組として、平成24年度から学習用教材や給食として、主要農水産物の提供を行っています。

今回は、11月から順次、学校給食用にみかんを県内の国公立小学校及び中学校等368校に提供するとともに、県内7校では県職員が出向き、「みかんの生産状況」等について児童に説明する出前授業も実施します。

【実施内容】

港小学校では、3年生を対象にみかんの贈呈式と出前授業を行いました。

出前授業では、有田振興局農業水産振興課職員から、最初にみかんの収穫量について説明があり、和歌山県が19年連続収穫量日本一であることや、県内市町村の収穫量ランキングを紹介すると、児童から驚きの声などが上がりました。また、職員からクイズ方式で、みかんの花や、おいしいみかんの見分け方などについて説明があり、児童は楽しくみかんの特性や栽培方法を学習しました。

他に、児童に地域特有の「有田むき（※）」でみかんの皮をむいてもらい、試食も行いました。授業を通して児童からは、「試食のみかんが甘くておいしかった」、「みかんの農作業は、収穫だけでなく、1年中作業していると知った」、「おいしいみかんの見分け方について知らないものもあった」と声上がり、貴重な体験になったようです。

※有田むきは、へたの反対をを半分に割り、それぞれをさらに割って4分割にする方法。



みかんの出前授業



みかんの試食